

登録コード	A3591311	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	中村 浩蔵
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している				食品分子工学に関する専門的な知識や研究成果を解りやすく効果的に発表する能力を修得する。		
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って食品分子工学に関する問題をとらえ解決するために、研究成果を解りやすく効果的に発表する能力を修得する。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				食品分子工学に関する専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、研究成果を解りやすく効果的に発表する能力を修得する。		
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って食品分子工学に関する様々な課題をとらえ解決するために、研究成果を解りやすく効果的に発表する能力を修得する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。 最後の授業回に授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	参考書などで基本的なプレゼンテーションの知識を予習しておくことが望ましい。また、魅力的で分かりやすい資料の作成，解説，質疑応答の技術を身に着けるためには，研究テーマに関する専門知識に関する日常的な学習が非常に重要です。						
(7)成績評価の基準	・研究テーマについて理解し，研究内容を適切にまとめて発表できるとき「水準にある」。 ・研究テーマについてよく理解し，研究内容と成果を理解しやすくまとめて発表でき質疑応答ができるとき「やや上にある」。 ・研究テーマについて十分に理解し，研究内容と成果を理解しやすくまとめて魅力的に発表でき，学問的な質疑応答ができるとき「かなり上にある」。 ・研究テーマについて背景を含めて十分に理解し，研究内容と成果を理解しやすくまとめて魅力的に発表でき，学問的に深い質疑応答ができるとき「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	・プレゼンテーションの前には十分な練習が不可欠です。 ・プレゼンテーションでの指摘事項を書き留めて改善に役立てるようにすることが重要です。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	・プレゼンテーション資料（スライド，ポスター，要旨，レジュメなど），プレゼンテーション，質疑応答を総合的に判断して評価します。 - 秀：90点以上（授業の達成目標の水準からみて卓越している） - 優：80～89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） - 良：70～79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） - 可：60～69点（授業の達成目標の水準にある） - 不可（D）：50～59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） - 不可（E）：49点以下（授業の達成目標の水準よりかなり下にある）						
(11)質問、相談への対応および連絡先	・研究室において随時対応します。 食品分子工学研究室（C棟2階） e-mail: knakamu@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	・ゼミと個別ディスカッションで指導します。ゼミには必ず出席してください。やむを得ない理由があるときには欠席の事前に許可を取ることが必要です。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）						